

北陸心理学会第 50 回大会
大会プログラム・発表論文集

2015 年 12 月 5 日(土)

石川県政記念しいのき迎賓館 2階 ガーデンルーム

北陸心理学会第 50 回大会準備委員会

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学人文学類心理学研究室内

委員長 岡田 努

委員 松川 順子

委員 小島 治幸

委員 谷内 通

委員 荒木 友希子

代表連絡先: 電話 (076)264-5316 (荒木)

FAX (076)264-5362

Email contact@hpsj.org

会場案内

石川県政記念しいのき迎賓館 2階 ガーデンルーム
〒920-0962 石川県金沢市広坂2丁目1番1号
電話：076-261-1111

アクセス・駐車場についてはしいのき迎賓館ホームページの「アクセス」でご確認ください。

<http://www.shiinoki-geihinkan.jp/index.html>

JR金沢駅バスターミナル兼六園口（東口）3, 6, 8, 9, 10, 11番より「香林坊（アトリオ前）」下車（所用約10分）、徒歩約5分



大会スケジュール

- 受付 9:00 ～
- 研究発表 9:30 ～ 12:30
- 総会・50回大会記念行事（軽食を用意します）12:50 ～ 14:00
- 公開シンポジウム 14:30 ～ 16:45

大会参加費

非会員の方については、心理学および関連領域の教育・研究・業務に携わる方、学生・大学院生にご参加いただけます。当日、受付にて非会員として大会参加費をお支払い下さい。本大会では昼休みを設けずに、会場で軽食をとりながら総会を行います。参加費には軽食代金が含まれています。アレルギー等の特別な対応が必要な場合には各自でご準備ください。

正会員	1,000円
非会員（一般）	1,500円
非会員（学部学生・大学院生）	1,000円

研究発表者へのご案内

1. 発表時間

発表1件につき、発表時間10分、質疑応答2分とします。時間経過は、ベルにて合図いたします（1鈴：8分、2鈴：10分、3鈴：12分）。発表時間を厳守してください（発表・質疑が途中でも3鈴で打ち切っていただきます）。なお、研究発表は、発表論文集への論文掲載、口頭発表、質疑応答をすべて行うことにより、発表として認められます。新入会員の発表者については、本年度会費が未納となった場合には発表が取り消されますので、ご注意ください。

2. 発表機器について

当日、会場に用意するノートパソコンには、Windows 7/PowerPoint 2013 がインストールされています。パソコンの入れ替えをする時間がないため、原則として会場に設置されたパソコンをご使用ください。Mac や他の機器の利用を希望される場合には、事前に大会準備委員会までご連絡ください（contact@hpsj.org）。

3. 発表データについて

発表データはPowerPointにて作成し、USBメモリに保存してご持参下さい。

4. 当日のデータ受付時間

9:00～9:20のデータ受付対応時間を設定し、発表会場に用意するノートパソコンへ発表データをコピーしていただきます。発表者は必ず対応時間内に会場へお越しください。

発表賞

北陸心理学会では大学院生の研究発表を奨励する観点から発表賞の表彰を行っています。

1. 対象者

以下の要件をすべて満たす責任発表者の方が審査の対象となります。

- a) 大学院生であること
- b) 常勤の職（任期制含む）に就いていないこと
- c) 北陸心理学会における過去の発表賞受賞が1回以下であること（受賞は計2回まで）

2. 審査方法

プレゼンテーション（発表の明瞭性、発表時間を厳守したか、質疑への応答）および研究内容（知見の斬新さや重要性、手続きや議論の妥当性）に基づいて総合的に評価します。審査員は、座長、北陸心理学会役員、および役員から当日指名された常勤研究者等が担当します。審査者が対象研究の共同発表者である場合には、当該発表の評価を行いません。

3. 結果発表

当日の総会において受賞者を発表します。受賞者には賞状を贈呈します。

研究発表

座長 小島治幸（金沢大学）・伊丸岡俊秀（金沢工業大学）・井戸啓介（富山県立大学）

- 9:30 1. US 低価値化法を用いたアカハライモリにおける古典的条件づけ過程の検討
谷内通
- 9:42 2. 好みの音楽聴取が悲しみに及ぼす影響について
荒木友希子・矢野智美
- 9:54 3. Visual Motion Priming 現象とマスキング効果
井戸啓介
- 10:06 4. 外国語学習に伴う文産出システムの脳内機構の可塑的变化：機能的 MRI による縦断的検討
島田浩二・定藤規弘
- 10:18 5. 統合失調症患者の言語記憶過程における方略利用と脳活動：前頭葉活動と意味的クラスタリング方略の関連
星野貴俊・越智大輔・松井三枝・大塚貞男・高橋芳雄・鈴木道雄

発表賞対象セッション

- 10:30 6. 母子インタラクション時の脳内ネットワーク活動の検討：脳磁図のグラフ解析を用いて
長谷川千秋・高橋哲也・池田尊司・吉村優子・平石博敏・菊知充
- 10:42 7. 皮質運動野における運動学習時の血流動態変化
中野莉帆・小島治幸
- 10:54 8. ホームページ報酬によるラットの迷路学習：実験者の補足による阻害効果
西川未来汰・谷内通
- 11:06 9. VDT作業時における負荷量と作業効率の検討
岩丸良広
- 11:18 10. ラットにおける放射状迷路課題を用いた項目のリスト提示法による指示忘却
田中千晶・谷内通
- 11:30 11. 文字の出現速度がメッセージを読んだときの印象に与える影響
大屋嘉寛・伊丸岡俊秀
- 11:42 12. 3D映像が臨場感を与える要素
犀川隼・伊丸岡俊秀
- 11:54 13. ラットの推移的推論遂行における刺激の空間配置と序列関係の一致性の効果
天満基之・谷内通
- 12:06 14. 自己の強み探し、及び意識することによる感情変容の検討
森井しづか
- 12:18 15. 大学生における母性愛信奉傾向と妊娠中絶許容傾向
塚原久美・大矢寿美子

公開シンポジウム

こころを支える“認知”の働き－記憶，加齢，メンタルヘルス－

石川県政記念しいのき迎賓館 2階 ガーデンルーム 14:30～16:45

現代に暮らす我々が直面する問題の多くは「心」と関係があります。心理学は、心を様々な側面から科学的に解明することを通じて、これらの問題の解明・解決に役に立つことを目指しています。このシンポジウムでは、嫌な記憶への対処の仕方、高齢者の心の働きについて正しい知識をもつことの重要性、加齢が与える影響と個人差を脳の測定から調べる試み、精神疾患や感情に関わる問題の治療法について、心理学研究の第一線で活躍する若手研究者からお話しいたします。特に、日々の生活の中で心が行っている情報処理の仕組みである「認知」をキーワードとして、現在注目されている話題について最新の知見をわかりやすく紹介していただき、北陸地域における今後の心理学の研究と教育の方向性を展望します。

司会：松川順子（金沢大学人間社会学域人文学類）

話題提供 1：

嫌な記憶はどうやったら忘れられる？－ネガティブな記憶の抑制とその応用可能性－

小林正法(日本学術振興会特別研究員・名古屋大学)

話題提供 2：

認知心理学から考えるエイジング教育の重要性

松田崇志（明治学院大学心理学部）

話題提供 3：

脳機能計測によって認知機能をとらえる

國見充展（ATR 脳情報解析研究所）

話題提供 4：

“認知”は人の心の問題を説明することができるか？

吉村晋平（追手門学院大学心理学部）

指定討論：

永井康司（医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院）

松川順子（金沢大学人間社会学域人文学類）

企画：金沢大学人間社会学域人文学類心理学コース

協力：北陸心理学会，北陸心理学会第50回大会記念企画委員会